

# KANA GAWA ARTS PRESS

4 & 5 2016

神奈川芸術プレス Vol.129  
白井 晃  
CREATOR'S  
VOICE 148

CREATOR'S VOICE 148

## 白井 晃

KAAT神奈川芸術劇場 芸術監督に就任  
心揺さぶるすべてが劇場にある。

～人生の秘密に迫る、就任第一作『夢の劇 -ドリーム・プレイ-』とは  
～特集：5月の週末は家族で1日、劇場・音楽堂に遊ぶ！

表紙撮影：福里幸夫

奇数月15日発行 [隔月刊]

心  
搖  
さ  
ぶ  
る  
す  
べ  
て  
が  
劇  
場  
に  
は  
あ  
る。



### 劇場と街・その環境と位置づけを知る大切な時間

—この2年弱の間に白井さんは、KAATで既に『Lost Memory Theatre』『ペール・ギュント』の二作を生み出されています。ご自身ではこの期間を、どのように位置づけていらっしゃいますか？

KAATという劇場が置かれている環境、それは場所としてだけでなく、“演劇界におけるKAATの位置づけ”というようなものを、良い意味で知ることができた期間だと思っています。この劇場が持つ機能、マンパワーなどいろんな意味でのポテンシャルをしっかりと把握し、良いところも課題も冷静に見つめたうえで正式に就任できたことに感謝しています。これからは、それら僕なりの劇場に対する理解を、スタッフの方たちや観客の皆さんといかに共有し、さらに魅力的にすべく思考していくことが仕事になるのですから。

—準備に必要な、有意義な時間だったのですね。

自分の頭の中にある理想や夢だけを語っても何も始まらない。ある程度の現実感も持っていないければ、思い描く劇場像へと容易には近づけません。それは舞台作品をつくるときと同じで、「やりたいこと」と「できること」の間にある細い狭間を、いかに通り抜けて目標に近づくかが問われる部分。だからこそ劇場の表と裏、あらゆることに触れ、考える時間が必要でした。

—劇場やその環境に対して、新たな発見や認識はありましたか？

横浜という土地柄と、そこへ向けた劇場の取るべきアプローチに関して、認識はあまり変わっていません。港町

として外国文化に早くから触れ、進取の気性に富むこの街の劇場、その観客には、先鋭的かつアート寄りの作品をも受け入れる懐深さがある。引いてはそのことが、劇場の個性にもなるはず。僕の仕事はそんな尖った作品と、より幅広い観客に喜んでいただけるポピュラリティのある作品、両方のバランスを取りながら発信していくことです。

演出家としての僕は、国内外の古典から新作まで比較的に多彩な作品を手掛ける機会に恵まれてきましたが、どんな現場でもいつも考えるのは、できあがった作品と観客をどう出会いさせるか、そのためには何ができるかということ。劇場まで足を運び、表現者と観客が時間や感覚を共有する、そのことの価値が、以前より軽んじられる傾向にありますが、そんな価値観を逆転させ、「自分たちの街に劇場があることの喜びと意義」を感じていただけるような創作やプログラムを、意欲的に組んでいきたいと思います。

### 自分自身と出会い「生の意味」を知る場所

—「街に劇場があることの喜びと意義」について、もう少し具体的に伺えますでしょうか。

僕の個人的な見解ですが、劇場に来ることで人は「芸術や文化の豊かさを身近に感じ・触れられる」と思っています。もう一つは、少し抽象的で大げさな言い方になってしまいますが「自分自身に出会い、生の意味を知る」こと。劇場というよりは、それを含む劇的空間と言ったほうが良いかも知れませんが、そういう場に足を運び、生で、目の前で起こる種々の表現によって情動や体感が振り動かされることで、少年から青年に移行する頃の僕は「今、僕はこの

作品を目撃している。紛れもなくこの時代のこの場所に身を置き、生きている！」という大きな確信を得た。演劇を通して、自分の存在を確かめられたという原体験は、今も僕の創作活動の基盤を成す大切な経験です。

—確かに、その後の自分に強く影響を及ぼす創造と、生で出会うのは鮮烈な体験です。

ええ、それに感激・感動できるものに限らず、疑いや嫌悪にかられる作品との出会いも、そこから受けた痛みや失望がまた、生を実感させるために機能するのが舞台芸術の面白いところ。喜びも痛みも、大きければ大きいほど翻って生身の自分を知ることになる。そんな経験をKAATを訪れる、一人でも多くの方にしていただきたいと思っています。もちろん、喜びのほうをより多くするよう努めるつもりです。

ロビーやカフェなど付帯施設でのライブやパフォーマンス、プロジェクション・マッピングを用いた建物外壁の装飾など、劇場内に止まらずKAATでできる芸術体験には、まだまだ新たに開拓できる部分が残されている。まだ眠っているそれら宝を掘り出し、活かせるよう考えるのも、僕の仕事ですね。

### 登場人物たちの「肉声」は戯曲を貫く通奏低音になる

—就任後の第一作はストリンドベリの『夢の劇 -ドリーム・プレイ-』です。魅力的な俳優陣はもちろん、長塚圭史さんが上演台本と出演で参加されているのも大きなトピックだと思います。

俳優同士で共演したり、長塚演出作品に僕が出演する

KAAT神奈川芸術劇場プロデュース

『夢の劇・ドリーム・プレイ』

4月12日(火)~30日(土)

KAAT神奈川芸術劇場&lt;ホール内特設ステージ&gt;

【原作】ヨハン・アウグスト・ストリンドベリ

【構成・演出】白井晃 【台本】長塚圭史 【振付】森山開次

【作曲・編曲・演奏】阿部海太郎、生駒祐子、清水恒輔、トウヤマタケオ

【音楽ディレクション】mama!milk

【出演】早見あかり 田中圭 江口のりこ 玉置玲央 那須佐代子 森山開次／

山崎一 長塚圭史 白井晃 ほか

※詳細日程・チケット情報は本誌P4をご覧下さい。

チケットかながわ

WEB

http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/  
☎0570-015-415(10:00~18:00)

最新情報はWEBで!

http://www.kaat.jp/

[公式サイト]www.yumenogeiki.jp/

Twitter @kaat.jp

Facebook kaat神奈川芸術劇場

白  
井  
晃

KAAT 神奈川芸術劇場 芸術監督

## 白井晃、KAAT 神奈川芸術劇場芸術監督就任 展望と『夢の劇・ドリーム・プレイ』を語る

アーティスティック・スーパーバイザーとしての2年弱を経て、

今春いよいよ、白井晃がKAAT 神奈川芸術劇場の芸術監督に就任します。

舞台芸術への大きな情熱と愛情、加えてアーティストとして人と時代を見つめる鋭い眼差しを持つ彼は、

劇場と共に歩む「この先」を、どのように見つめているのでしょうか。その胸中を聞きました。

ことはこれまであったのですが、僕の演出作に参加してもらう機会だけが先延ばしになってしまい、今回ようやく実現したのです。戯曲選びの段階から参加していただき、その後の上演台本づくりでは、昨年夏から二度ほど、二人だけの合宿ミーティングのようなものもやりました。

ここまで作業でわかったのは、長塚さんと僕の間には、共通言語のようなものが最初からあり、会話が心地良く、思考もそれに合わせて広がってしまう。そのため一度話し始めると周囲が呆れ、ついでこられなくなるくらい延々と喋り続けてしまうんです。お陰で長塚さんは、会うたびに大量の宿題を渡すことになってしまい、迷惑がられている気もしているんですが(笑)。

——粘り強く創作に取り組むことには定評のあるお二人。共同作業は非常に濃密なのでしょうね。

ええ、今はまだ台本づくりの段階ですが、話は戯曲の解釈から演出にまで及び、とても豊かな時間を重ねています。その結果、最初はストリンドベリの世界観、そこに描かれた人間の優しく切ない営みを核として考えていたのですが、最近は、台本から登場人物たちの「肉声」が聞こえるようになってきた。

悲嘆や失望を抱えながらも生きざるを得ない人々の「肉声」は、イメージや情景が羅列されたつかみどころのない戯曲を貫く通奏低音であり、芯となるものです。今回のキャストは、そんな微かな声に耳を傾け、演技に取り込むよう尊重してくれる方揃い。今から稽古が始まるのが待ち遠しくなりません。きっと、改めて向き合うKAATとお客様への、最初の贈り物にふさわしい舞台になると思います。

### わたしの神奈川

この2年弱、以前より明らかにKAATに来るため横浜を訪れる機会は増えたのですが、劇場以外の場所に行けていないんです(笑)。ただ、最近ひょんなことから、羽田空港から車で横浜へ行く機会がありました。つまり、都内から向かうときは逆方向のアプローチを体験しました。

海の上を滑るような感覚で高速に乗り、しばらく走るヒランドマークタワーが現れ、続いて視界に山下公園や小高い山手エリアが飛び込んでくる。海を眺めたあと、豊かな緑が眼前いっぱいに広がるその光景がとても新鮮で、改めて「横浜は素敵な土地だ」と気づかされたんです。

外国から船に乗り、初めて日本を訪れた人々は、僕が見たような横浜の景観の美しさにきっと非常に感激したのだろうな、などと想像を膨らませるひと時は、とても楽しいものでした。

横浜と言えば港町として開けたイメージがどうしても強い。でも、同じ都会的な発展を遂げた街でも、季節を感じられる植物や自然の景観がちゃんとあり、外国のようなセンスの良さもさりげなく取り込んでつくられた横浜の街は、東京と比べてもやはり特別な魅力がありますね。



しらい あきら

演出家、俳優。1957年生まれ。京都府出身。早稲田大学卒業後、劇団「遊@機械／全自動シアター」を主宰(1983~2002年)。美意識の高い緻密な演出で定評がある。演出家として独立後は、ストレートプレイからオペラ、ミュージカルまで幅広く手掛ける。また俳優としても舞台、映像で活躍中。近年の演出作品に『Lost Memory Theatre』『ロンドン版 ショーシャンクの空に』『マーキュリー・ファー』『ペール・ギュント』『No.9-不滅の旋律-』、オペラ『愛の白夜』『オテロ』『フィガロの結婚』など。2001、02年の演出活動にて第9回、第10回読売演劇大賞優秀演出家賞受賞。05年演出『偶然の音楽』にて平成17年度湯浅芳子賞(脚本部門)受賞。また12年演出のまつもと市民オペラ『魔笛』にて第10回佐川吉男音楽賞受賞。2016年4月よりKAAT 神奈川芸術劇場芸術監督に就任予定。

取材・文:尾上そら／撮影:福里幸夫

「作品が書かれた100年前と私たちが生きる現代は、どこか呼応しているような気がする。しかも登場するキャラクターたちが愛おしくて仕方ない」(白井晃)、「論理を超えて、流れる川のように、タイトルそのまま夢のようにならぬやかな繋がりの中で進む物語」(長塚圭史)。

演出家と上演台本を手掛けた作家、二人が会見時、こんなふうに形容した不可思議な美しさと大きな謎を秘めた作品、それが『夢の劇-ドリーム・プレイ-』だ。

原作者ヨハン・アウグスト・ストリンドベリは、“現代演劇の先駆者”とされるスウェーデンの小説家、劇作家。人間と、その営みを冷徹なまでに観察する視点と、深い思索により書かれた作品群、特に戯曲は現代も上演の機会が多い。

『夢の劇』は1901年の作品。上演することを前提とせずにストリンドベリが書いたとされ、神インドラの娘アグネスが、父の命により天上から人間界へと下り、苦悩と悲哀に満ちた人間たちの人生を体験しながら遍歴する様が、整合性や脈絡に捉われないイメージの羅列のように描かれていく。

恋人を待ち続ける士官、劇場の入口に座り続ける女、人間の罪悪にまみれた自身の仕事に深く悩む弁護士など、登場人物たちはいずれも苦悩や悲嘆を抱える者ばかり。その姿は演出家の言葉どおり、21世紀の今を生きる私たちにそのまま重なるリアルさで迫ってくる。

場面・状況を説明するト書きや指定がほぼない今作は、取り組むつくり手の解釈次第で、いかようにも世界観が変じる魅力的だがハードルの高い戯曲と言えるだろう。

だが白井との創作が3度目となる振付家、ダンサーの森山開次は「夢という捉えどころのないものを描く台本を読み解く鍵は、身体表現かも知れない」と言い、既に創作の手がかりを見つけつつあるようだ。

他にも「本格的な舞台は初めてでわからないことだらけ。でも、その“わからないことづくし”的な状況は、人間界を旅するアグネスに通じるところかも知れない」(早見あかり)、「白井演出を受けるのは4度目。一見重い、難しい本にも思えるけれど、気づきの多い白井さんとの稽古ができるのだから不安はない」(田中圭)など、意欲にあ

ふれる言葉が会見では次々に発せられた。

会見の終わり、白井は「物語の流れが一貫していないだけで、個々の場面は人間とその営みを描く普遍的なもの。万華鏡のように空気や世界が変わって行く、その様をどう立ち上げるか今はまだ考へている最中ですが、立体化できたら驚くほどわかりやすく、楽しんでいただけるものになるはず」(白井)と口にした。それはそのまま、つくり手と観客の両方が共に、『夢の劇』を楽しむための術を示しているのかも知れない。

(文 尾上そら)



#### KAAT神奈川芸術劇場プロデュース 『夢の劇-ドリーム・プレイ-』

4月12日(火)～30日(土)  
KAAT神奈川芸術劇場<ホール内特設ステージ>  
【原作】ヨハン・アウグスト・ストリンドベリ  
【構成・演出】白井晃  
【台本】長塚圭史 【振付】森山開次  
【作曲・編曲・演奏】阿部海太郎 生駒祐子  
清水恒輔 トウヤマタケオ  
【音楽ディレクション】mama!milk  
【出演】早見あかり 田中圭 江口のりこ  
玉置玲央 那須佐代子 森山開次／  
山崎一 長塚圭史 白井晃 ほか

	4/12 (火)	13 (水)	14 (木)	15 (金)	16 (土)	17 (日)	18 (月)	19 (火)	20 (水)
13:00					●	○			
14:00		P	休 演 日					●	●
18:00				●					
19:30	P					◆			

	4/21 (木)	22 (金)	23 (土)	24 (日)	25 (月)	26 (火)	27 (水)	28 (木)	29 (金・祝)	30 (土)
13:00		●	●						●	●
14:00	休 演 日			●	○	休 演 日		●		
18:00		●								
19:30	◆									

P:プレビュー公演 ◆:アフタートークあり  
○:託児サービスあり 公演1週間前までに要予約・有料(マザーズ Tel:0120-788-222)

#### チケット】

■プレビュー公演 一般7,500円  
■本公演 一般8,500円

\*プレビュー、本公演とも以下割引あり  
チケットかながわの電話・窓口で前売りのみ取り扱い

U24チケット(24歳以下) 一般的の半額  
高校生以下割引(高校生以下) 1,000円  
シルバー割引(満65歳以上) 一般的の500円引

発売中

チケットかながわ ☎0570-015-415(10:00～18:00)

窓口:KAAT神奈川芸術劇場2F(10:00～18:00)

<http://www.kaat.jp/>

[公式サイト][www.yumenogeiki.jp/](http://www.yumenogeiki.jp/)



#### ＜あらすじ＞

神インドラの娘アグネスが、雲のてっぺんに立って、眼下の世界=地球を見ている。そこは、月に照らされた陰気な世界。父はアグネスに、地上へ降りて人々の不満や嘆きを見聞きしてこい、と娘を送り出す。地上に降り立ったアグネスは、恋人を一途に待ち続ける士官、来る日も来る日も劇場の入口に座り続ける樂屋番の女、自分が犯った犯罪・悪行を反映し苦悶に満ちた弁護士など、苦難に満ちた人間たちと出会い、人間の存在の痛みを経験しながら成長していく。しかし、それらは現実なのか、夢なのか…そして、ついにアグネスが天空へ戻る時が訪れる。それはまるで、人が“夢”から目覚める合図のように見えるのだ。

# 『夢の劇-ドリーム・プレイ-』とは

## 神の視線で見た人間界の不条理。 人は何故、こんなにも苦悩と悲哀にまみれ、 生きなければならないのか。 人生の秘密に迫る『夢の劇』の魅力。

WEB予約(24時間対応) <http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

チケットかながわ ☎0570-015-415(10時～18時)

f チケットかながわ @Ticket\_Kanagawa も更新中!



## 横須賀・三浦エリア

## 知ってた？かながわ

神奈川県の伝統と風土に培われた工芸品や農林水産品などを「かながわの名産100選」からエリアごとにご紹介します。



(資料提供:三富染物店)

**「三崎の大漁旗」**  
古くから漁港として栄えてきた三崎に伝わる大漁旗です。大漁祈願や新造船祝いをはじめ、帰港の際、丘で待つ人々に大漁であったことを知らせるシンボルとしても掲げられてきました。日の出や鶴、亀などのお目出たい柄が多く用いられ、大胆な構図と原色使いを特徴としています。

今も伝統を守り続ける三富染物店では、下絵描き、のりおき、染め付けなど、すべて手作業で、一枚ずつ染め上げています。最近では、婚礼、出産や長寿祝いの贈り物としての人気も高まっています。三崎中学校では10年間にわたって生徒たちが卒業記念に大漁旗の作成に取り組み、卒業式の会場を飾った旗に見送られて旅立つていきました。

## ① 横須賀芸術劇場

4月9日(土)15:00 調訪内晶子 ヴァイオリン・リサイタル

ピアノ:エンリコ・バーチェ S6,500円 A5,500円

5月7日(土)14:00 チック・コリア&amp;小曾根真



ピアノ・デュオ ブレイズ・アコースティック

S7,800円 A6,800円 B5,500円

お問合せ:☎046-823-9999

## ③ 神奈川県立近代美術館 葉山

4月8日(金)~5月15日(日) 「近代洋画・もうひとつの正統 原田直次郎展」

ミュンヘンの美術アカデミーに最初の日本人画学生として学び、森鷗外の小説「うたかたの記」のモデルでもある原田直次郎の約100年ぶりの回顧展です。

開館:9:30~17:00(入館は16:30まで) 休館日:月曜日

観覧料:一般1,200円、20歳未満・学生1,050円、65歳以上600円、

高校生100円 お問合せ:☎046-875-2800



原田直次郎《騎龍観音》1890年 護国寺蔵(重要文化財)

## ② 横須賀美術館

4月23日(土)~6月19日(日) 「さくらももこの世界展」

「ちびまる子ちゃん」の作者として知られるさくらももこの、表紙絵や絵本の原画を中心に、立体作品やコレクション、エッセイの原稿などゆかりの品々を展示します。開館時間:10:00~18:00 休館日:5月9日(月)、6月6日(月) 観覧料:一般900円、高大生・65歳以上700円、中学生以下および市内在住または在学の高校生は無料。お問合せ:☎046-845-1211

30周年原画展用イラスト  
(2014年)  
©MOMOKO SAKURA=SAKURA PRODUCTION

## ④ 第24回葉山芸術祭

葉山町と周辺市域で毎年開催され、地域住民有志で運営されているアートフェスティバル。

第24回の今年は、4月23日(土)~5月15日(日)に開催されます。「あかりのイベント」は4月30日(土)・5月1日(日)に、手づくりアート作品やクラフト作品が楽しめる「青空アート市」は5月14日(土)・15日(日)に行なわれます。詳細は公式HPで順次発表。<http://www.hayama-artfes.org/>

お問合せ:☎046-877-1441



## その他の神奈川県内文化情報

各公演・展覧会情報は2016年2月1日現在のものであり、内容は変更される場合があります。

## 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

定期演奏会県民ホールシリーズ第8回  
「生きる喜び溢れる歌声の祭典」

神奈川県民ホール

7月16日(土) 17:00

モーツアルト・歌劇「ドン・ジョヴァンニ」より

序曲・酒がまわったら今度は踊りだ ほか

オルフ・カルミナ・ブランナ

現田茂夫(指揮) 三宅理恵(ソプラノ)

中井亮一(テノール) 吉江忠男(バリトン)

神奈川フィル合唱団、横浜少年少女合唱団

S6,000円 A4,500円 B3,000円(シニアは各席10%割引き)

一般発売日 3月16日(水) 神奈川フィルチケットサービス

☎045-226-5107(平日10:00~18:00)

<http://www.kanaphil.or.jp>

## 神奈川近代文学館

特別展「100年目に出会う 夏目漱石」

3月26日(土)~5月22日(日) 月曜休館(5月2日開館)

9:30~17:00(入館は16:30まで)

「吾輩は猫である」「坊っちゃん」「三四郎」「それから」「心」そして「明暗」…没後100年を経ても読み継がれる作品と、人間・漱石の魅力を、漱石の遺族から寄贈された資料を中心とした国内有数の夏目漱石コレクションをもとに紹介する。

一般700円 65歳以上・20歳未満・学生300円

高校生100円 中学生以下無料

\* 団体料金あり

\* 高校生、大学生団体の授業目的観覧は免除申請あり

☎045-622-6666

<http://www.kanabun.or.jp>

## 神奈川県県民局くらし県民部文化課

## 募集 平成28年度神奈川県文化芸術活動 団体事業補助金

神奈川県では、県内の文化芸術活動団体が行う自主的な文化芸術活動の活性化及び本県における文化芸術の振興を図るために、広く県民の皆さんを対象に行なう文化芸術に関する公演、展示、コンクール、ワークショップ等に対して、公募方式による助成を実施します。

詳細は県ホームページをご覧ください。

提出締切:4月6日(水)まで(消印有効)

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f3486/>

☎045-210-3808

## 公益財団法人神奈川芸術文化財団賛助会員募集のご案内

公益財団法人神奈川芸術文化財団では、賛助会員制度を設立し、広くみなさまのご寄附・お力添えをいただいております。

**賛助会員** 法人賛助会員 株式会社アクタエンジニアリング / 株式会社浅岡装飾 / アサヒビル株式会社 / 学校法人岩崎学園 / 株式会社ウォートル / 株式会社エス・シー・アライアンス / 株式会社NHKアート株式会社勝利庵 / 公益財団法人神奈川県結核予防会 / 神奈川県信用保証協会 / 株式会社神奈川孔文社 / 株式会社神奈川保健事業社 / 神谷コーポレーション株式会社 / カヤバシステムマシナリー株式会社 / 川本工業株式会社 / かをり商事株式会社株式会社共榮社 / 株式会社キヨウエイ装備 / 株式会社KSP / 株式会社合同通信 / コトブキシーティング株式会社 / 株式会社シグマコミュニケーションズ / 株式会社ジェイコムマイスト横浜テレビ局 / 株式会社清光社 / 株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ月島機械株式会社 / 株式会社テレビ神奈川 / 東工株式会社 / ナイス株式会社 / 株式会社日建設計 / 日産自動車株式会社 / 日成工事株式会社 / 日生商工株式会社 / 日総ブレイン株式会社 / 株式会社野毛印刷社 / バナソニック ESエンジニアリング株式会社平安堂薬局 / 株式会社ホルト、ニューグランド / 一般社団法人本牧関連産業振興協会 / 丸茂電機株式会社 / 三沢電機株式会社 / 森平舞台機器株式会社 / ヤマハサウンドシステム株式会社 / 株式会社有隣堂 / 株式会社豊商社 / 株式会社ユニコーン株式会社横浜アーチスト / 横浜新都市センター株式会社 / 横浜信用金庫 / 弁護士法人横浜パートナー法律事務所 / 横浜ビルシステム株式会社 / 株式会社ワイシー・ソリューションズ

永年個人賛助会員 江田眞子 / 川村恒明 個人賛助会員 岩間良孝 / 大島正博 / 岡田博子 / 黒瀬博靖 / 橋本尚子 (匿名:1社、1名)

協賛・協力 ナイス株式会社 協力 神奈川総合設備株式会社 / 神奈川トヨタ自動車株式会社 / 崎陽軒 / 株式会社東芝 / 株式会社野毛印刷社 / 野村證券株式会社横浜支店 / 株式会社富士住建 / 三菱地所株式会社 (敬称略 2016年2月1日現在) ご寄附・ご協賛・ご協力のお申込み・お問合せ:広報営業課 ☎045-633-3760

もっと、近くに。もっと、アートに。

# 5月の週末は家族で1日、劇場・音楽堂に遊ぶ!

3館まとめてパワーアップしたオープンシアター2016、

庄司紗矢香 音楽堂で無伴奏ヴァイオリン・リサイタルを開催。

もっと、  
アートニュース  
近くに。

## 3館まとめて1日遊べる オープンシアター2016

開港祭を控えて横浜が賑う季節、毎年開催され好評の「オープンシアター」が、今年パワーアップする。山下公園前の神奈川県民ホール、KAAT神奈川芸術劇場に紅葉ヶ丘の神奈川県立音楽堂が加わり、3館の建物いっぱいを使った企画が目白押し。本格的音楽公演から子どもワークショップまで、ご家族、友人で3館をめぐり、アートを楽しむ1日はいかが。



県民ホールバックステージツアー 撮影:青柳聰

県民ホール大ホールでは神奈川フィルの演奏と、「あらしのよるに」でおなじみの絵本作家あべ弘士による美術、ダンス、朗読、演出つきの「音楽物語:動物の謝肉祭」と、拍手の大きさで演奏曲を決める「生演奏で聴いてみたいあの曲!! Part3」。普段見られない舞台裏を間近に見られるバックステージツアーもあり。ロビーでは野毛山動物園の写真展や動物のお話を聞けるコーナーもあり、ギャラリーでは、いきものをテーマに魅力的なアートを制作する若手美術作家、富田菜摘さんと一緒にプラスチック廃材を使っていきものを作る美術ワークショップ「もののいきもの」もある。身近な廃材を魔法のように変身させてしまう富田さんの作品展も開催。造形の美しさ、動物たちの存在感に、子どもも大人も魅了されるはず。あべ弘士さんのワークショップ「キリンをつくろう」もある。オルガンどうたのコンサートでは、オルガンを間近に見たり、オルガニストと交流もできる。まさに全館もりだくさん。

KAATでは、アトリウムやスタジオが現代アートの美術館に大変身する「突然ミュージアム」が開かれる。8人の作家のユニークな作品は必見だ。

名建築として名高い音楽堂では、館内の建築見学や講談師日向ひまわりさんの語りなどで歴史をひもとく「音楽堂建築探検!」がある。打楽器奏者、神田佳子さんによるワークショップや音響体験ミニコンサートも。最後はお客様も加わって一緒にラヴェルの名曲「ボレロ」を演奏してしまおうという「みんなでボレロ!」では、木のホールの音響をみんなで体感できる。

山下公園前から紅葉ヶ丘までは約3キロ。バスでもいいが、お天気がよければ、歴史的な「開港広場」やキング、クイー



富田菜摘作品「諭吉」 ©Natsumi Tomita

ン、ジャックの「横浜三塔」として知られる建物、みなとみらい地区などを望みつつ、横浜散歩とアートを両方楽しむという欲張りな1日にも、ぜひ挑戦されてはいかが。

## オープンシアター2016

### ◆神奈川県民ホール

音楽物語・サン=サーンス『動物の謝肉祭』&生演奏で聴いてみたいあの曲!! Part3

5月29日(日) 大ホール

ステージ/オーケストラピット見学

バックステージツアーあり

ワンコイン・コンサート

~オルガンどうたのハーモニー

5月29日(日) 小ホール

オルガン見学・オルガニスト交流あり

富田菜摘展「動物たちのかーニバル」

5月24日(火)~29日(日) ギャラリー第1展示室

<ワークショップ>

「キリンをつくろう」

5月28日(土) 6階 大会議室

「もののいきもの」

5月29日(日) ギャラリー第1展示室

【野毛山動物園 どうぶつ写真展】

5月29日(日) 大ホールロビー

### ◆KAAT神奈川芸術劇場

突然ミュージアム2016

5月11日(水)~29日(日) アトリウム他

美術作家によるワークショップも予定

### ◆神奈川県立音楽堂

音楽堂・音体験♪&建築探検!

5月28日(土)

※詳細は各ホールニュース・最新情報は各館WEBをご覧ください。

## 庄司紗矢香 待望の無伴奏で音楽堂に初登場

昨年ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲録音を完成させ、研ぎ澄ました演奏に益々磨きのかかるヴァイオリニストの庄司紗矢香が、音楽堂で無伴奏リサイタルを開く。2010年にバッハ&レーガーの無伴奏作品を録音しているが、全曲無伴奏によるリサイタルは今回が初めて。聴衆との距離が近い「親密な空間」として全国7か所の室内楽ホールが選ばれた。待望の音楽堂初登場となる。

プログラムは、バッハに始まりバッハに終わる。もう一つのBはバルトーク。コンチェルトを東京で演奏した際、ハンガリーの名教師フェレンツ・ラドシュにアドバイスを受け、あわせて無伴奏ソナタも勉強したという。そして注目されるのが、細川俊夫への初めての委嘱新作・世界初演。庄司自身、「いろいろな意味でのセンシティヴィティがすごく似ている」と語る作曲家が、どのような音楽を彼女のために書くのか、新作が音になる瞬間に立ち会うことのできる幸せを味わいたい。正面から勝負する演奏家の意気込みと深い精神性が感じられるプログラムだ。

無伴奏こそヴァイオリニストの素の魅力が味わえる音楽。木に囲まれた音楽堂の空間で、充実のときを迎える演奏家の今に、じっくり耳を傾けてはいかがだろう。

## 庄司紗矢香 無伴奏ヴァイオリン・リサイタル

5月29日(日) 15:00 神奈川県立音楽堂

J.S.バッハ:幻想曲とフーガト短調 BWV 542  
(ジャン=フレデリック・ヌーブルジェ編)

B.バルトーク:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ Sz.117

細川俊夫:新作(2016)《委嘱作品・世界初演》

J.S.バッハ:無伴奏ヴァイオリン・バルティータ第2番  
二短調 BWV 1004

※チケット情報はホールニュース5をご覧ください。

## 創造を支える仕事人 ⑫

神奈川芸術文化財団 広報営業課 営業担当

中里 也寸志

劇場・ホールがより多くの方々に愛され、足を運んでいただける場所になるために、皆様に広く積極的に働きかける営業の任務が不可欠です。そしてお客様目標で公演をみつめ、制作にフィードバックする役割も担っています。営業担当、中里也寸志が語ります。

1999年に入職以来、一貫して営業の道を歩んできました。現在は、チケットの団体販売と企業協賛を担当しています。

企業協賛は、ミュージカルやオペラ、バレエなど大規模な公演の制作、およびアウトリーチ活動や実験的な企画を支えるための重要な役割を負う仕事です。「芸術文化の支援」といわれても、ピンとこないと思われる方もいらっしゃると思いますので、ご賛同、ご支援いただくために、言葉を尽くして思いを伝えることが大切だと思っています。いつもお伝えするのは、震災のときには音楽が人々の精神的な糧となったように、芸術文化は我々が生きるうえで、なくてはならない

い宝物なのだ、ということです。そして、支援に携わる方々すべてに、「夢・愛・希望」に貢献しているのだという誇りを持っていただけるよう、実際に公演を体験して感動を味わっていただくことも大切だと思っています。

チケットの団体販売については、幅広く色々な層の方々にいらしていただきたいと、学校や企業などさまざまな団体にお声かけしています。最近では近隣のホテルなどと協働して、オペラの鑑賞券付宿泊プランや、コンサート後のディナークルーズなどのコラボ企画を打ち立て、好評をいただいている

音楽・芸術を通して、人と人をつなぎ合わせることが、私の仕事だと思っています。初めてオペラやバレエを見た方が「来てみたらとても良かった!」と言ってくださるときが営業冥利に尽きる瞬間です。そして一人でも多くの方々に、劇場・ホールでの体験が、より一層芸術に親しみきっかけになってほしいと願っています。



もっと、  
レビュー・ボイス  
近くに。

開館40周年を迎えた神奈川県民ホールで、三島由紀夫原作、黛敏郎作曲のオペラ『金閣寺』が16年ぶりに新制作で上演されました。

下野竜也指揮、田尾下哲演出、小森輝彦、宮本益光らが出演、日本を代表する若い力が集結し、日本の名作オペラを表現、圧巻のフィナーレを創り出しました。

ご覧になったお客様の感動の声をお届けします。

第22回神奈川国際芸術フェスティバル  
神奈川県民ホール開館40周年記念 神奈川県民ホールオペラシリーズ2015

### オペラ『金閣寺』

2015年12月5日(土)~6日(日)

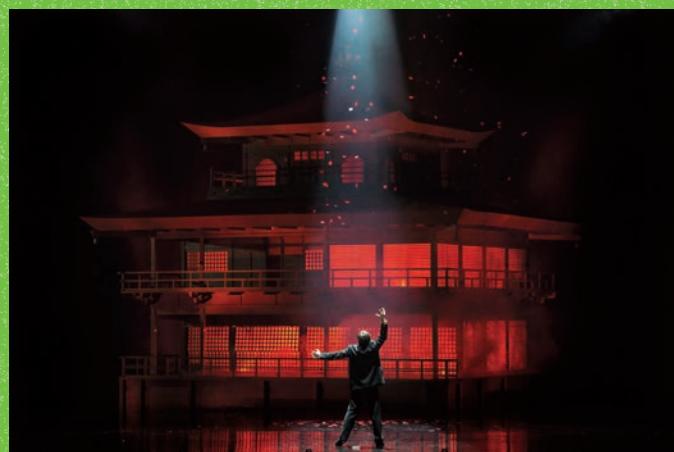
作曲:黛敏郎 原作:三島由紀夫 台本:クラウス・H・ヘンネベルク  
指揮:下野竜也 演出:田尾下哲 装置:幹子 S.マックアダムス  
出演:小森輝彦、宮本益光ほか  
会場:神奈川県民ホール・大ホール



中央=小森輝彦 ©青柳聰

歴史的公演。感動の一言。

黛敏郎の音楽に圧倒…。  
神奈川フィルもすばらしかった!  
(50代男性)



©青柳聰

日本のオペラの素晴らしさと演出の素晴らしさに始終くぎづけだった。  
三島文学をかくも美しく具現化された演出に感動した。(50代女性)



中央=宮本益光 ©青柳聰

プレトークで見所が分かり楽しむことができた。  
オケも合唱も素晴らしい。

日本の美が全体を通して表現され、主人公の深い精神に少し寄りそなうことができた。  
今まで見たオペラの中で一番良かった。感動した。(60代女性)

舞台の展開がはやく、時間を忘れて楽しむことができた。  
指揮者の緩急豊かなタクトに魅了された。(30代男性)

### オープンシアター2016

ホールは、地域に開かれた、人々が芸術と交わる場所!  
気軽に芸術に触れてみませんか?



### 一日休みの無料コンサート オルガン・プロムナード・コンサート

1975年の開館以来、毎年続けられている伝統のパイオルガン・コンサート。

4月22日(金)

柳澤文子

(オルガン)

6月24日(金)

青田綺江

(オルガン)

神奈川県民ホール・

小ホール

入場無料



### 美輪明宏『毛皮のマリー』

寺山修司が美輪明宏のために書いた伝説的名作。  
妖しくも哀しい物語が頽靡美あふれるゴージャスにして魅力的な世界として描かれる!

5月28日(土)・29日(日)  
KAAT神奈川芸術劇場・  
ホール  
S席9,000円  
A席6,000円  
作:寺山修司  
演出・美術・主演:美輪明宏

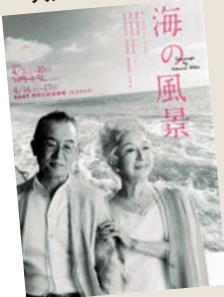


もっと、  
Information  
アートに。

### 地人会新社「海の風景」

異色の顔合わせで贈る  
大人のファンタジー。

4月14日(木)~17日(日)  
KAAT神奈川芸術劇場・  
大スタジオ  
作:エドワード・オルビー  
翻訳:鳴海四郎  
演出:串田和美 木内宏昌  
出演:草笛光子 串田和美  
池田鉄洋 小島聖



### 庄司紗矢香 無伴奏ヴァイオリン・リサイタル

1,000人の親密な空間で聴く待望の無伴奏リサイタル。  
J.S.バッハ「無伴奏バッハ・ソナタ第2番」、バルトーク「無伴奏ソナタ」のほか、細川俊夫の新作も。

5月29日(日)

神奈川県立音楽堂

入場料 全席指定

一般6,000円

シルバー(65歳以上)

5,500円(壳切)

学生(24歳以下)3,500円

出演:庄司紗矢香

(ヴァイオリン)



### 神奈川フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会 音楽堂シリーズ

古楽界の第一人者、カベルマイスター、常任指揮者、それそれ異なる神奈川フィルの響きをお楽しみください!

- 第7回 4月23日(土)  
鈴木秀美(指揮) ハイドン+バッハ&ベートーベン
- 第8回 6月4日(土)  
キンボローイシイ(指揮) ハイドン+パウルス&ラヴェル
- 第9回 7月9日(土)  
川瀬賢太郎(常任指揮者)、郷古廉(ヴァイオリン)  
ハイドン+パルトーカ  
神奈川県立音楽堂  
S席4,000円  
A席2,500円 B席1,500円



※学生(24歳以下)は枚数限定

チケットのお求めは  
チケットかながわ

WEB予約(24時間受付)

<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

0570-015-415(10:00~18:00)

窓口(県民ホール 10:00~18:00 / KAAT 10:00~18:00 / 音楽堂 13:00~17:00月休)

f チケットかながわ t @Ticket\_Kanagawa も更新中!

編集後記

- 神奈川芸術プレスは5/15発行の次号から大幅リニューアルします。これまで同様ご愛読下さい。今までのプレスを支えて下さったスタッフの皆様にこの場をお借りして深く感謝いたします。(井)
- 横浜には、こんなにも街のあちこちに開港からの歴史を感じさせる風景や場所があったのですね。横浜の隠れた魅力を教えてくださった森日出夫さんの「横浜情景」に感謝します。(さ)
- 今まで芸術に縁の無い人生を歩んできましたが、神奈川芸術プレスを通じて色々な芸術に触れることができました。関係各所の皆様にこの場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。(さ)

## ART MAP

## ホール・劇場周辺のアートスペース



(横浜市在住カメラマン)  
**森日出夫さんの写真でめぐる横浜情景**  
 横浜都市発展記念館の敷地内にある旧居留地消防隊地下貯水槽遺構です。1871(明治4)年から1899(明治32)年まで、この地を本拠とした居留地消防隊(Yokohama Fire Brigade)の防災貯水槽として建造され、1972(昭和47)年まで使用されました。横浜市認定歴史的建造物としてここに保存されています。  
 1866(慶応2)年に発生した大火は横浜の街づくりの転換点となりました。居留地の改造を求める幕府が防火道路として整備したのが、日本大通りです。貯水槽のあるこの地は、日本初の消防車、救急車が配置されるなど、日本における近代消防ゆかりの地といえます。



### 神奈川芸術プレスはここにあります。

神奈川県内の主な県施設の情報コーナー、ホール・劇場、文化施設、公立図書館、美術館・博物館、一部の有隣堂・横浜銀行店舗などに配架しております。

※発行日から1週間程度で配架されます。神奈川県民ホール・KAAT神奈川芸術劇場・県立音楽堂の3施設は発行日に配架します。

PRESS  
IS  
HERE



県内のアート情報は  
ここで探そう!  
<http://www.kanagawa-at.info/>  
 「かな@」は3/31までクローズいたします。



家族みんなの想いを叶える富士住建の注文住宅・完全フル装備の家

横浜 ルーム ☎ 0120-51-2210  
 神奈川県横浜市瀬谷区瀬谷1-13-9

鎌倉 ルーム ☎ 0120-2210-56  
 神奈川県鎌倉市台3-6-11

相模原 ルーム ☎ 0120-46-2210  
 神奈川県相模原市中央区矢部2-17-21

小田原 ルーム ☎ 0120-68-2210  
 神奈川県小田原市下堀39-1

ずっと自然の家であつた。  
**富士住建**